

平成 26 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会 がん政策部会

日 時 : 平成 26 年 11 月 13 日 (木) 18:00～

場 所 : 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

構成員 : 11 名

出席者 : 7 名

埴岡 健一 (東京大学公共政策大学院医療政策教育・研究ユニット)、東 尚弘 (国立がん研究センターがん対策情報センター)、井岡 亜希子 (地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府立成人病センター)、宮国 孝男 (那覇市立病院、研修部会副部会長)、樋口 美智子 (那覇市立病院、相談支援部会長)、増田 昌人 (琉球大学医学部附属病院 がんセンター)、仲本 奈々 (琉球大学医学部附属病院 がん登録部会副部会長)、

欠席者 : 4 名

天野 慎介 (一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン)、笹良 剛史 (友愛会南部 病院、緩和ケア部会長)、佐村 博範 (琉球大学医学部附属病院、地域ネットワーク部会長)、長井 裕 (琉球大学医学部附属病院、普及啓発部会長)

陪席者 : 2 名

兼城研 (沖縄県保健医療部)、呉屋 葉子 (琉球大学医学部附属病院)

<報告事項>

1. 委員一覧

増田副部会長より、資料 1 に基づき、委員に変更がないことが報告された。

2. 平成 26 年度第 1 回がん政策部会議事要旨の確認

3. 平成 26 年度第 2 回がん政策部会議事要旨の確認

増田副部会長より、資料 2、3 に基づき、がん政策部会のあり方と各部会との関係について詰めるために、第 1 回、第 2 回の議事要旨を資料に付けたことが報告された。

4. 第 4 回がん政策部会の日程について

増田副部会長より、次回の開催は、平成 27 年 2 月 12 日 (木) 18:00 から、琉大病院がんセンターで行うことが報告された。

<審議事項>

1. がん政策部会の在り方と、がん政策部会と各部会の関係について

増田副部会長より、資料 4 に基づき、前回のがん政策部会では、国・県・協議会の基本計画のすべての領域を 7 部会でカバーする方向であったが、後日、各部会に持ち帰り協議した結果、7 部会で全面的に支えるのは難しいなどの意見があったことが報告された。

そこで、各部会は基本計画の出来ることを進めることとし、年 1 回は部会ごとに、県や協議会の基本計画を参考にカバー範囲を改めて検討してはどうかと提案があった。

また、がん政策部会のあり方について以下の提案があり、承認された。

- ・政策部会は全体を見渡し、例えば総論の指標、全体の進捗、死亡の動向など全体の進捗の評価、必要な予算などを立てて行く。
 - ・年 4 回の部会で、各部会に対する提言、協議会に対するがん対策提言（+予算）、沖縄県に対するがん対策に関する政策提言（+予算）に関する議論を行い、それぞれを行う。
 - ・各部会に対する提言は、がん政策部会委員である部会長がそれぞれの部会に持ち帰り、説明を行い、議論を行う
 - ・協議会に対するがん対策提言は、各拠点病院・支援病院に対するもの、医師会などの構成委員を出している団体に対するものとし、幹事会に提出し、議論を行う
- 沖縄県に対するがん対策に関する政策提言（+予算）も幹事会に提出し、議論を行い、協議会から沖縄県に要望書の形で出す。

2. 各部会への提言について

増田副部会長より、資料5に基づき、今後、がん政策部会で何をやっていけばいいのか意見を頂きたいと依頼があり、以下の意見があった。

- ・広報などの施策や指標のアドバイス、各部会の問題点を共有するなどコンサルテーションを行う。
- ・政策を作り、評価する。
- ・施策提案シートのフォーマットを作成し、各部会はそれぞれ3つぐらい施策をはめ込み、がん政策部会で検討し優先順位をつけて、協議会、県に提出する。フォーマットは、課題、解決案、アウトプット目標、アウトカム目標、中間アウトカムとの連結を記載する。
- ・毎年 10 月頃、がん患者調査と医療従事者調査を行い、協議会、県に提案する。
- ・県からタバコや検診の情報提供をして頂き、その評価を支援する。
- ・アウトプット評価は各部会で行い、アウトカム評価はがん政策部会で行う。
- ・毎年、希望者を募って PDCA やロジックモデルの研修会を行う。
- ・地域がん登録や人口死亡統計を利用して、がん検診、早期診断割合のアウトカム指標をまとめる。

3. 協議会または協議会構成団体への提言について（第 4 回幹事会議題としての提案事項）

増田副部会長より、資料6に基づき、2月の協議会に県より以下の報告をしてはどうかと提案があった。

- (1) 平成 24、25、26 年度の沖縄県がん対策関連予算（決算）について
- (2) 平成 27 年度の沖縄県がん対策関連予算の概算要求について
- (3) 第 2 次沖縄県がん対策推進計画について、①進捗状況の報告②中間評価の予定③アクションプランの策定の予定④中間評価を踏まえての改定の予定等
- (4) 沖縄県がん対策推進協議会の活動状況について
- (5) 沖縄県がん対策推進条例について、①条例制定前後の政策や予算の変化について②改定等の今後の予定等

兼城主査（沖縄県保健医療部）より、26 年度の決算は難しいと思うが、持ち帰り検討すると回答があった。また、県の立場として、現場の声や課題の抽出など、がん対策については協力を仰ぎたく、政策も含めて事前に調整を行いたいと考えているので、協議会のような場でいきなり出すことについては、ご配慮頂ければと依頼があった。

4. 沖縄県への提言について

増田副部長より、資料7に基づき、以下2つの提案があった。

- ・がん政策部会に県の医療政策課と健康長寿課の職員を委員又はオブザーバーとして参加して頂くこと。
- ・県は、がん計画の中間評価についてどのように考えているのかメーリングで議論を行いたい。

5. 第1回がん政策部会での決定事項のその後の進捗状況について

増田副部長より、資料8に基づき、第1回がん政策部会での決定事項のその後の進捗状況について、以下の報告があった。

- (1) 協議会への福祉医療部長の出席、協議会委員就任の要請について
- (2) 幹事会への福祉医療部統括監の出席、幹事会委員就任の要請について
⇒対応済み。
- (3) 各部会への担当課長もしくは班長の出席、部会委員就任の要請について
⇒一部の部会は委員就任されたが、全ての部会への委員就任は出来ていない。
- (4) 幹事会と協議会での沖縄県よりのがん対策関連予算の説明および決算の説明の要請
- (5) 幹事会と協議会での沖縄県よりのがん対策関連施策の説明の要請
⇒引き続きお願いする。予算および決算と施策に関しては時期的なものがあるため、ベストな時期を考慮し、メーリング上で議論することになった。また、年間カレンダーと噛み合うよう、年間カレンダーを具体化することになった。